

## 平成 24 年度 第 1 回 環境水理部会 議事録

時間：平成 24 年 9 月 7 日（金） 12:00～13:00

場所：名古屋大学 東山キャンパス工学部 2 号館 2-221 号室

出席者（敬称略）：二瓶泰雄，竹林洋史，赤松良久，角哲也，土屋十圀，矢野真一郎，宮本仁志，田代喬，櫻井寿之，大石哲也，井上徹教，今村正裕（オブザーバー）田井明，大槻順朗（順不同）

### ・オブザーバーからの自己紹介

部会に先立ち，本部会において新たにオブザーバーになった田井明先生（九州大学高等研究院・助教）と大槻順朗先生（東京理科大学理工学部・助教）から自己紹介がなされた。

### 【審議事項】

#### 1. 平成 25 年度研究集会について（二瓶部会長）

平成 25 年度研究集会として，被災地である宮城県での開催，世話人として横山委員が取り行うことが提案され，了承された。資料 1 に基づいて研究集会案が説明され，宮城県気仙沼市及び岩手県一関市において，3 日間の日程で開催する方向で進めることが承認された。開催時期や詳細な日程等については，3 月開催の部会で再度検討されることとなった。

#### 2. 副部会長について（二瓶部会長）

環境水理部会の次期副部会長として，角哲也委員が推挙され，承認された。また資料 2 に基づいて副部会長の選出プロセスについて確認がなされた。

### 【報告事項】

#### 1. 平成 24 年度研究集会の報告（矢野委員）

別紙資料に基づき，2012 年度研究集会に関する実施報告及び会計報告がなされた。本件については参加人数も例年に比べ多く，好評であった。今回初めて行われたナイトセッションについては，概ね好意的であったが，研究発表に注目が集まりすぎ，懇親の時間が不足していたとの意見がなされ，今後は立食形式を取り入れる等の意見が出された。

#### 2. 教科書作成 WG 報告（二瓶部会長・兼 WG リーダー）

目次案（資料 3）について簡単な説明がなされた。また，WG の作業進捗状況及び今後の活動計画について説明がなされた。

#### 3. 流域圏 WG 報告

##### (1) 環境水理部会・河川部会共催ジョイント WS 実施について（宮本委員）

配布資料に基づいて環境水理部会・河川部会共催ジョイントワークショップ（2012 年 11 月 22 日開催）について説明がなされた。本 WS の土木学会 CPD 認証に関する手続きは二瓶部会長が行うこととなった。WS の参加費は 1000 円～1500 円を目安とし，発表用 PPT 等の配布資料を配布すべきとの意見が出された。本 WS の広報に際しては，関連学会の ML に流すが，参加希望者が会場の収容人数（120 名）を上回る可能性があるとの意見があり，行政関係への広報活動については実際の申し込み状況を踏まえながら行うこととなった。

##### (2) 流域圏シンポの報告（赤松幹事）

資料 4 に基づいて，第 3 回流域圏シンポについて説明がなされた。開催日は 2012 年 12 月 14 日，開催場所は川崎とする。テーマは震災関連として①震災がれき，②放射性物質の動態，③各種物質の生態系への影響，の 3 つとする。講演者については現在調整中であるが，委員からの推薦者がいる場合

には連絡していただくよう依頼がなされた。また、本件に関する HP 掲載を HP 担当・田代委員と斉田委員に依頼することとなった。

#### **4. 震災対応 WG 報告（横山委員，代理・二瓶部会長）**

震災対応 WG として申請した土木学会重点研究課題が採択されたことが報告された。また，H24 年度研究集会開催時に WG が行われたこと，H24 年度流域圏シンポも WG 活動の一部であることが報告された。

#### **5. 水工学委員会報告（二瓶部会長）**

平成 24 年 7 月 18 日開催の水工学委員会における内容として，下記の報告がなされた。

- ・ 水理公式集を改訂することが決定し，その準備委員会が発足され，環境水理部会からは二瓶部会長が委員として参加する。10 月に最初の委員会が開催される。
- ・ 水理実験指導書の改訂も合わせて実施される
- ・ 九州北部豪雨災害調査団が小松利光・九州大学特命教授を団長として発足した。

#### **【その他】**

##### **1. 部会活動に伴うイベント実施について（二瓶部会長）**

部会活動を伴うイベント実施に関する注意事項の説明がなされた。

以上